

学校の未来を考える会



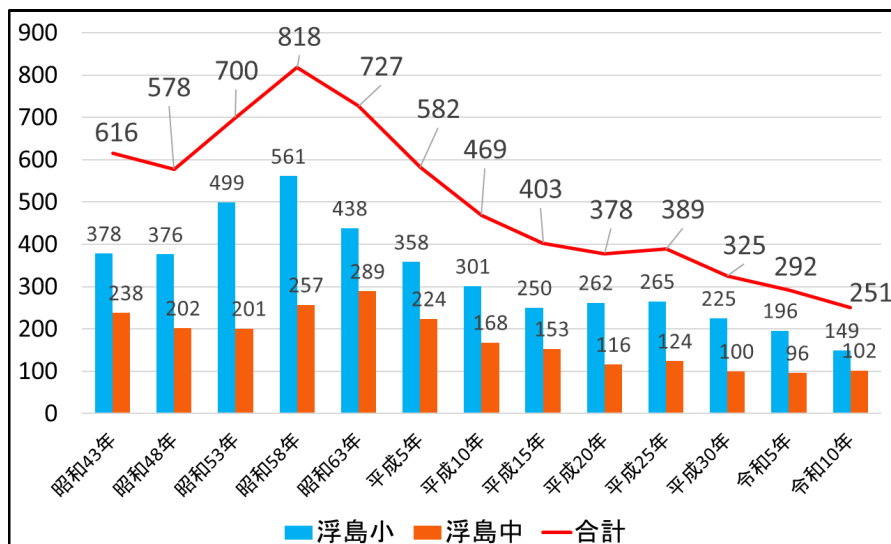
日頃より、本市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

教育委員会では、今年度、合計3回の**浮島中学校区学校の未来を考える会**の開催を予定しています。いただいたご意見等につきましては、浮島中学校区の児童生徒にとって望ましい教育環境を整備するために役立てていきたいと考えております。今後もこの学校の未来を考える会での協議内容や今後の会議などについてお知らせしていきます。

児童生徒数の減少、学校の小規模化が進んでいます



浮島小中学校の児童生徒数の推移



昭和43年から令和5年は、各年5月時点の実数。

令和10年は住民基本台帳(R5.5.1)を反映し、直近5年の増減率を乗じた事務局推計

浮島中学校区では、児童生徒数の減少、学校の小規模化が進んでいます。沼津市教育委員会では、子供たちにとってよりよい教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図るため、学校の適正規模・適正配置の検討を行っています。未来を担う子供たちを地域総がかりで支えていくためにも、浮島中学校区にお住まいの皆様とともに学校の在り方について検討をしていきます。

第1回 浮島中学校区学校の未来を考える会 を開催しました

9月27日(水)に、学識経験者、地域、保護者、学校の代表者で構成された「浮島中学校区学校の未来を考える会」を開催しました。教育委員会から学校の現状や今後の会議の進め方を説明した後、浮島中学校区の子供たちにとって望ましい教育環境とはどのようなものかということを中心に話し合いました。

ホームページに当日の資料や質疑の内容について掲載していますので、右記の二次元コードから是非ご覧ください。



教育委員会から説明した内容

◆学校の適正規模・適正配置に係る取組の目的

- ・子供たちにとってよりよい教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ること

◆「浮島中学校区学校の未来を考える会」の設置目的

- ・浮島中学校区の子供たちにとって望ましい教育環境や目指す子供の姿について意見交換する場
- ・浮島中学校区の学校の適正規模・適正配置の方向性について協議をする懇話会

◆教育委員会が考える望ましい学校規模・学校配置について

(1) 適正規模について（特別支援学級を除く）

小学校は12学級以上24学級以下、中学校は9学級以上18学級以下

(2) 適正配置について

通学距離・・・小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内

通学時間・・・小・中学校ともに、おおむね1時間以内

※ただし、この基準はあくまでも市内全域を捉えた基本的な方針であり、各地域の特殊性についても配慮が必要であると考えています。

委員や傍聴されている皆様からの主なご質問や意見など

< 意見 >

【学校の小規模化について】

- ・現在、浮島中学校区の子供たちは、一部の学年以外はクラス替えの経験がない環境であり子供同士の結びつきが強い。よさでもある一方、これからの社会を生きていく子供たちにとっては多様な人間関係の中でコミュニケーション能力を育てていく必要もある。

【今後の方向性や協議内容について】

- ・浮島には、浮島なりのよさがある。その特色は残したい。
- ・今後、多くの人の意見を聞くためにアンケート調査をしたらどうか。
- ・すでに市内で取り組んだ学校の現状が知りたい。

< 質問 >

- Q 学校の適正規模・適正配置の検討を始めるのは、児童生徒数の減少だけでなく施設の老朽化も関係があるのか。
- A 市内の多くの地域で、校舎の建替や改修の時期を迎えようとしています。浮島中学校区においても校舎の老朽化が進んでいることは事実ですが、児童生徒数の減少により学校の小規模化が課題と捉えていることから、検討が必要な地区として学校の未来を考える会を設置して検討を始めるものです。

委員の皆様からのご意見を参考に、次回の浮島中学校区学校の未来を考える会の準備を進めてまいります。

第2回 浮島中学校区学校の未来を考える会

日時：12月1日（金）19時から

場所：浮島地区センター 1階大会議室

内容：市内での取組の成果や課題などについて、意見交換 など

発行

令和5年10月発行

沼津市教育委員会 教育企画課

沼津市御幸町16-1

電話：055-934-4821

FAX：055-931-8977

E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp